

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 丸亀Link

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			法令で定められた配置数以上の配置にしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入り口がスロープになっており、現在は利用がありませんが車椅子での利用も可能です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			より良いサービスのために、職員間での「報連相」はもとより、話し合いなどを通して日々改善を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意見をリフレクション会議などで共有して実施を行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を設置し、外部評価が行えるようにしていく予定です。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			利用児童との関わりの中で成果が見られた療育などを共有し、話し合いを行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントは保護者様との面談や利用児童の様子などから分析し、その子に合わせて計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用児童の適応行動は、標準化されたアセスメントツールを活用し把握をおこなっています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			様々な活動の企画・計画・実施は、チームで話し合っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムが固定化しないように季節に合わせた行事や利用児童の興味にあった活動を行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用児童の特性、状況、その時々にあった支援を計画しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童の現状に合わせてコミュニケーションや社会性を取り入れた活動を計画しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童の変化に合わせて、支援開始前にはその都度、報告や打ち合わせを行っています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、または翌日、及びすぐに伝える必要があること等をその都度、職員で共有しています。	

適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用児童一人一人に合った支援を話し合い、現在の学習状況などを共有し、支援の検証・改善に役立てています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヵ月に一度モニタリングを実施し、利用児童に合った支援をその都度見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに則り、且つ一人一人の能力に合わせて支援を計画しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用児童の状況を把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎の際に「変わりないですか？」と伺う事を心掛けて、その時々利用児童の様子を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な利用者はありませんが、今後受け入れる場合は、連携できる体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前の関係機関とは、必要に応じて情報を共有し、利用児童の支援に活かしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在、事業所を卒業した利用者はいませんが、十分な情報が提供できるように連携を図っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		情報交換や共有はしていますが、今後、交流や勉強会を通して連携を図っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在は行っていませんが、近くに大きな公園があり、隣接する健康運動センターを通して交流を図っていききたいと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	充分に参加できていませんが、今後、積極的に参加して行きます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時などに利用児童の成長や変化を伝え合うようにして共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		担当者会議や送迎時に保護者様からの相談などを通してお役に立てる情報をお伝えしていますが、今後も話しやすい関係を築いていきたいと思ます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に説明を行っており、継続して丁寧な説明をして行きます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様との関わりは、連絡帳や送迎時などだけでなくその都度、必要に応じて話せる環境を作っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者様同士の連携測るため、今後は保護者会などの企画を行っていく予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		適切な対応ができるよう、小さなことでも報告を行い速やかな対応ができるように心がけています。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページのブログで活動の紹介をしており、また、連絡帳で情報を発信していますが、今後は会報などを事業所で発行したいと考えています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、保管は鍵付き書庫で行なっています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用児童一人一人の支援だけでなくその保護者様との関わり方でも、伝え方やタイミングなどに配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域との交流について、現在は行事などは行えていませんが、利用児童が楽しめる活動は今後も工夫して参ります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		入り口に掲示するとともに新規の利用者への説明を行っています。また、質問などにも答えられるように職員間でも理解を深めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震・火事・不審者などの避難訓練を実施し、利用児童の安全の徹底と、職員間の連携を図れるようにしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		最低でも年に一回は、虐待に関する職員研修を行い、また事業所内で虐待防止責任者を選定しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーに関しては、契約時に保護者様から聞き取りを行い、職員に周知しています。また基本的に飲食は家庭から持参した水筒のお茶しか摂取していませんが、長期休みなど昼食をとる場合などはアレルギーを知った上で事故がないよう見守りを行なっています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例はが起きた際には職員で共有し、その都度ファイリングし、振り返りを行い、再発防止に努めています。	